

テーマ

NEVERLAND

■ 芸能祭

9月23日(土)
24日(日)

■ 体育祭・後夜祭

9月29日(金)

高等学校

今

年度の学園祭のテーマは「NEVERLAND」。学園祭に取り組む一人ひとりが夢のような舞台を作り上げ、来て頂く観客の皆さんにも夢のような世界を感じてもらえることを目標としました。

今年度の学園祭準備は、台風の影響もあり心配されました。しかし、準備に熱心に取り組み、わずかなスペースを見つけ、コツコツと準備、工夫を続ける淑徳生の力強さに支えられ、本番を迎えることができました。

22日の前日祭は、会長・実長陣のあいさつに続き、全クラスが15秒間でクラスアピールをした後、全員の「オー」の掛け声で二つにまとまりました。

23・24日の本番は、両日も晴天に恵まれ、「淑徳晴れ」の中での実施となりました。大アリーナではミュージカル・演劇・サウンドクリエイトのそれぞれの部門で練習の成果を発



揮し、見学者を感動させました。校内でも展示部門が、教室いっぱい大きな展示を行い、見学者を驚かせました。また、中庭では、美術実行制作のメインアートを背景に、模擬店・ステージが芸能祭に一層の彩りを添えました。

体育祭も爽やかな「淑徳晴れ」の下、元気で力強い淑徳生の姿が見られ、学園祭の締めくくりとなる後夜祭でも、生徒は疲れを見せることなく、大いに盛り上がりました。

中高一貫の完成以降、来場者の数は減少傾向にあり、生徒数の減少から学園祭を支える生徒の実行委員体制も正直苦しいものがあります。しかし、生徒たちは学園祭期間を通じて、想像以上の成長を遂げていきます。クラスとの関わりの中でつながりを深め、自らの可能性を広げるこの取り組みを、今後も継続・発展させていきたいと思えます。

中高一貫の完成以降、来場者の数は減少傾向にあり、生徒数の減少から学園祭を支える生徒の実行委員体制も正直苦しいものがあります。しかし、生徒たちは学園祭期間を通じて、想像以上の成長を遂げていきます。クラスとの関わりの中でつながりを深め、自らの可能性を広げるこの取り組みを、今後も継続・発展させていきたいと思えます。



テーマ

twinkle

■ 芸能祭

9月27日(水)
28日(木)

■ 体育祭

10月4日(水)

今

年の学園祭のテーマは「twinkle」。「淑徳生一人ひとりが輝く学園」という方針にちなんで考えられたものです。

学園祭では各クラスの合唱や演劇作りに熱が入ります。1学期から準備に入り、わがクラスこそ最優秀賞に輝きたいと最終調整をして、どのクラスも本番に臨みます。3年生の演劇はキャストの熱演やスタッフのこだわりがあり、どのクラスも質の高い発表になりました。2年生は合唱もよく歌いこみ、美しいハーモニーと演出で観客をひきつけます。1年生は初めての学園祭でしたが、自分たちで作った力作の演出そして合唱を披露し、来年への期待が持たれました。

各学年の美術科や家庭科そして、国語の短歌(2年生)や俳句(3年生)は全員の作品が展示されています。今年1年生の習字はセンチナリーホールにて展示。友達やお子さんの作品を興味深げに鑑賞している姿がみられま

中学校



した。華道部は部員が多く、小アリーナの西の一角を占めるほどでした。

展示実行委員はアリーナの入り口付近と中央棟入口に趣向をこらした立て看板を作成し、観客用に掲示物を作成展示してくれました。

後夜祭は芸能祭の2日目です。今年参加人数が少なかったのですが、出演者と参加者が一体になる楽しいひと時となりました。

体育祭は前々日からの雨でグラウンドのコンディションが危ぶまれましたが、生徒たちが整備して何とか実施。午後からはすっかり「淑徳晴れ」に恵まれ、最後の「淑徳杯」では選抜走者の力走にグラウンドが熱気にあふれていました。閉会式の校歌の歌声は、生徒たちの満足感をのせ高く響いていました。